

ドローンがみた、 おぐにの風景 No.40



④ 平家の落人により開かれた伝承の残る 栃倉地区

昭和42年7月に集落の先に越中里橋が架けられ、それまでは橋の手前から左奥へ抜け、樋ノ沢地区へと通っていた道路が大きく変わりました。栃倉地区の由来について、『小国の信仰』（小国町誌編集委員会編 1994年）に伊藤嘉雄氏の由来記の記述として、「わが先祖、羽田掃部頭（かもんのかみ）は平家の落人であったが、自分の氏神（白山神）を土地の木のある自分地所に祀った。～中略～ 鎮守栃の木を脇に村をたてて栃倉と言った。」と書かれています。